

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月14日

【四半期会計期間】 第44期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社サガミチェーン

【英訳名】 SAGAMI CHAIN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鎌田 敏行

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地

【電話番号】 052(771)2126(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理担当 長屋 昇

【最寄りの連絡場所】 同上

【電話番号】 同上

【事務連絡者氏名】 同上

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第43期 第1四半期 連結累計期間		第44期 第1四半期 連結累計期間		第43期	
	自 至	平成24年1月21日 平成24年4月20日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年1月21日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		4,489,254		4,678,491		22,599,013
経常利益又は経常損失 () (千円)		76,445		82,930		672,386
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (千円)		127,076		26,301		447,078
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		72,873		49,340		690,617
純資産額 (千円)		9,251,604		10,329,209		10,405,237
総資産額 (千円)		14,717,639		15,050,339		15,237,026
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損 失金額() (円)		5.21		1.05		18.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)				-		
自己資本比率 (%)		62.9		68.5		68.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 各期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第43期は決算期変更により、平成24年1月21日から平成25年3月31日までの14ヶ月11日間の変則決算となっております。これに伴い、第43期第1四半期連結累計期間と第44期第1四半期連結累計期間とは対象期間が異なっております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、新たに締結された経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日）におけるわが国経済は、新政権や日本銀行による経済対策及び金融政策の効果や期待などから、円高の是正や株価上昇など景況感に改善の兆しが見られたものの、原材料費や電気料金の値上がりなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきておりますが、お客様の低価格志向の定着、中食需要の高まりなど小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、期首より「経営基盤の強化」、「科学的経営の推進」、「研修制度の拡充」を柱に取組んでまいりました。

当社の主力業態であり、「サガミ」の店名で親しまれております和食麺類部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を2回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県で8日間「こだわり テレビCM」を放映いたしました。その結果、客単価こそ対前年同一期間（4月1日から6月30日）で1.3%減となりましたが、前述の取組みなどにより既存店の客数は、対前年同一期間（4月1日から6月30日）で3.7%増となり、既存店売上高は、対前年同一期間（4月1日から6月30日）で2.4%増となりました。尚、当第1四半期末での『和食麺類部門』の店舗数は127店であります。

セルフサービス方式のどんどん庵部門では、「どんどん祭り」を1回実施いたしました。店舗関係では、長喜町店を閉鎖した結果、当第1四半期末での『どんどん庵部門』の店舗数は、46店舗であります。

その他の部門では、大型セルフうどんの「製麺大学」において、「初春の大学祭」を1回、「料理フェア」を3回実施し、団樂食堂「あいそ家」では、「あいそ家 お客様感謝祭」を1回実施いたしました。店舗関係では、ショッピングセンターのバロー大津店に「サガミ村 バロー大津店」を出店いたしました。尚、当第1四半期末での『その他の部門』の店舗数は、34店舗であります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,678百万円、営業利益は62百万円、経常利益は82百万円となりました。また役員甲慰金47百万円、減損損失7百万円など、特別損失60百万円の発生等により、四半期純利益は26百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、15,050百万円と前連会計年度末比186百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比341百万円減少し3,643百万円、固定資産は155百万円増加し11,407百万円、流動負債は前連結会計年度末比353百万円減少し2,780百万円、固定負債は243百万円増加し1,940百万円、純資産は76百万円減少し10,329百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(5) 従業員数

連結会社の状況

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第1四半期累計期間において、当社の従業員数は、主として、管理体制の変更に伴い連結子会社への出向のため、84名減少し401名となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	74,630,000
計	74,630,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	24,972,784	同左	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	24,972,784	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		24,972		6,303,521		3,405,791

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,764,000	24,764	
単元未満株式	普通株式 207,784		
発行済株式総数	24,972,784		
総株主の議決権		24,764	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式920株が含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が50株含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サガミチェーン	名古屋市守山区 森孝一丁目1709番地	1,000		1,000	0.0
計		1,000		1,000	0.0

(注) 当第1四半期連結会計期間末日現在の自己株式数は2,574株であります。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,108,107	2,820,052
受取手形及び売掛金	104,552	78,151
有価証券	292,880	204,768
商品及び製品	58,189	72,526
原材料及び貯蔵品	194,078	193,442
その他	227,117	274,086
流動資産合計	3,984,925	3,643,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,729,578	1,797,829
機械装置及び運搬具（純額）	169,014	144,336
土地	6,159,243	6,170,178
その他（純額）	113,806	234,228
有形固定資産合計	8,171,642	8,346,574
無形固定資産	132,542	140,730
投資その他の資産		
投資有価証券	1,119,457	1,114,104
差入保証金	1,444,021	1,424,167
その他	396,361	390,185
貸倒引当金	11,925	8,450
投資その他の資産合計	2,947,915	2,920,007
固定資産合計	11,252,100	11,407,312
資産合計	15,237,026	15,050,339
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	586,394	431,731
短期借入金	480,000	560,000
1年内返済予定の長期借入金	1,028,897	555,618
未払金	655,463	739,158
未払法人税等	28,356	40,109
賞与引当金	82,045	8,291
店舗閉鎖損失引当金	2,603	-
その他	270,207	445,255
流動負債合計	3,133,968	2,780,164
固定負債		
長期借入金	1,149,068	1,277,477
長期未払金	110,470	96,820
退職給付引当金	5,945	5,924
資産除去債務	312,610	313,708
その他	119,726	247,035
固定負債合計	1,697,820	1,940,965
負債合計	4,831,788	4,721,129

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	6,303,521
資本剰余金	3,405,791	3,405,791
利益剰余金	626,735	528,182
自己株式	1,585	2,099
株主資本合計	10,334,462	10,235,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,961	59,176
為替換算調整勘定	5,999	21,348
その他の包括利益累計額合計	57,962	80,524
少数株主持分	12,812	13,289
純資産合計	10,405,237	10,329,209
負債純資産合計	15,237,026	15,050,339

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,489,254	4,678,491
売上原価	1,414,036	1,407,303
売上総利益	3,075,218	3,271,188
販売費及び一般管理費	3,155,304	3,208,928
営業利益又は営業損失()	80,086	62,259
営業外収益		
受取利息	2,135	543
受取配当金	1,630	12,576
為替差益	-	11,111
受取保険金	8,583	2,163
雑収入	5,068	5,123
営業外収益合計	17,418	31,518
営業外費用		
支払利息	11,494	8,961
雑損失	2,282	1,885
営業外費用合計	13,776	10,847
経常利益又は経常損失()	76,445	82,930
特別利益		
保険解約益	-	17,919
固定資産売却益	423	-
事業譲渡益	-	6,000
特別利益合計	423	23,919
特別損失		
役員甲斐金	-	47,000
固定資産売却損	1,215	-
固定資産除却損	13,026	5,047
減損損失	2,395	7,887
保険解約損	5,242	-
その他	6,997	500
特別損失合計	28,877	60,435
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	104,899	46,414
法人税、住民税及び事業税	21,166	21,096
法人税等調整額	1,009	349
法人税等合計	22,176	20,747
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	127,076	25,667
少数株主損失()	-	633
四半期純利益又は四半期純損失()	127,076	26,301

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	127,076	25,667
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,456	4,785
為替換算調整勘定	16,746	28,457
その他の包括利益合計	54,202	23,672
四半期包括利益	72,873	49,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,873	48,863
少数株主に係る四半期包括利益	-	476

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

タームローン契約

(前連結会計年度)

当社が第2回無担保普通社債償還の資金調達を行うため取引銀行1行と締結したタームローン契約には財務制限条項が付されており、下記の条項の遵守を確約しております。

- (1) 平成23年1月以降の各連結会計年度の末日における、連結損益計算書において、経常損益の金額がゼロ円未満とならないこと。
- (2) 平成23年1月以降の各連結会計年度の末日における、連結損益計算書において、2期連続で当期損益の金額がゼロ円未満とならないこと。

当連結会計年度においては、当該財務制限条項に抵触しておりません。

(当第1四半期連結会計期間)

当社が第2回無担保普通社債償還の資金調達を行うため取引銀行1行と締結したタームローン契約には財務制限条項が付されており、下記の条項の遵守を確約しております。

- (1) 平成23年1月以降の各連結会計年度の末日における、連結損益計算書において、経常損益の金額がゼロ円未満とならないこと。
- (2) 平成23年1月以降の各連結会計年度の末日における、連結損益計算書において、2期連続で当期損益の金額がゼロ円未満とならないこと。

前連結会計年度においては、当該財務制限条項に抵触しておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費 90,568千円	減価償却費 94,644千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月21日 至 平成24年4月20日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

平成24年4月19日開催の第42期定時株主総会において、「第1号議案 資本準備金の減少並びに剰余金の処分の件」が可決され、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金7,255,780千円のうち3,849,988千円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、上記振り替え後のその他資本剰余金3,851,113千円の全部の金額及び別途積立金1,176,500千円並びに固定資産圧縮積立金14,859千円の全部の金額を減少させ繰越利益剰余金に振り替えることにより、繰越利益剰余金の損失の補填を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	124,854	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月21日 至平成24年4月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	5円21銭	1円05銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	127,076	26,301
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	127,076	26,301
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,381	24,970
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	同左
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社サガミチェーン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 實 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サガミチェーンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サガミチェーン及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。